

農業と地域社会の豊かな未来をめざしてJAは「自己改革」進行中!

地域社会への貢献とあらゆる環境に対応できる 持続可能な筑紫地区農業の確立

基本目標

農業者の
所得増大

農業生産
の拡大

地域の
活性化

令和4年度～6年度に向けたJA筑紫の取り組み

食料・農業基盤の 確立・強化

目標項目

- 多様な担い手経営体による地域農業維持・発展
- 需要に応じた販売の強化とコスト低減による所得増大
- あらゆる環境に対応できる持続可能な農業生産の拡大



地域・組織・事業基盤の 確立・強化

目標項目

- すべての女性が輝く社会づくりへの貢献
- 組合員の拡大と「アクティブ・メンバーシップ」の確立
- 健やかでくらしやすい地域社会への貢献とJA総合事業を通じた豊かなくらしの支援
- 「食」「農」「地域」「JA」「協同組合」にかかる地域住民理解の醸成



JA経営基盤の 確立・強化

目標項目

- 事業部門収支改善による持続可能なJA経営基盤の確立・強化
- ガバナンス・内部統制の確立と経営の健全性確保
- 協同組合の価値を創出する人づくり



JA筑紫 自己改革

(2019~2021)

3年間の取り組み成果

農業者の
所得増大

農業生産
の拡大

地域の
活性化

JA筑紫は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として自己改革に取り組んでいます。

これからも、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまとの対話を大切にしながら、総合事業の強みを生かして、「地域に必要なJA」であり続けます。

自己改革
スタート

2014

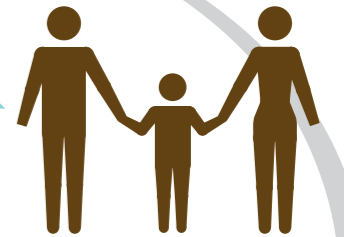


組合員
アンケート
実施



2018

地域貢献
活動



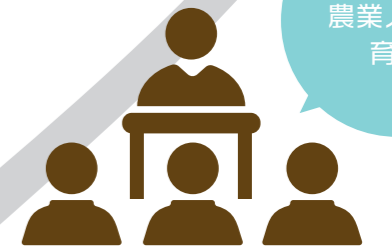
農業所得の
向上へむけた
取り組み



提案型の
宮農指導



農業人材の
育成



自己改革
×
SDGs



2022

「やっぱりJA筑紫があるけん、よかったばい!」を目指して

JA筑紫

JA筑紫は持続可能な開発目標(SDGs)を
支援しています。



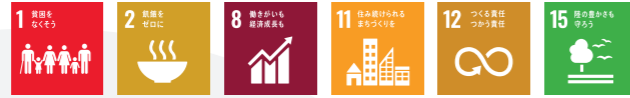
この印刷物は環境にやさしい
ベジタブルインキを使用しています。



この印刷物は、CSR
に取り組む印刷会社が
製作した印刷物です。

P-00154

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」にかかる取り組み



担い手の人材育成

新規就農者や農業後継者の育成を目的に平成23年から「ちくし農業塾」を開講し令和3年度までに93名が修了、71名が直売所(ゆめ畑)へ出荷を行っています。

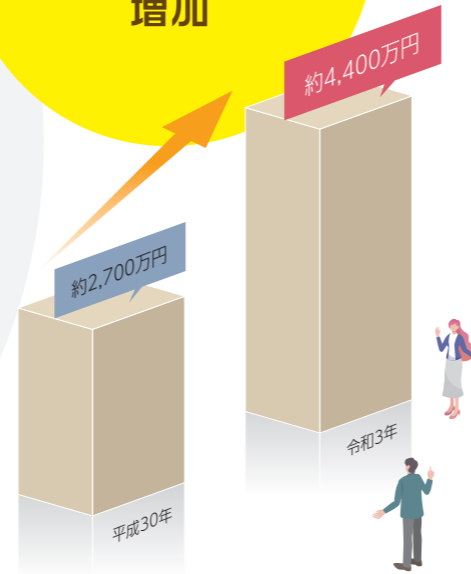
農業者の所得増大と安全で安心な農作物の生産拡大につながりました。



農業塾修了生直売所(ゆめ畑)出荷金額

年	金額
平成30年度実績	2,655万円
令和元年度実績	3,664万円
令和2年度実績	4,702万円
令和3年度実績	4,392万円

3年間で
約**1,700万円**
増加



米・麦・大豆の生産拡大に向けた作付け拡大と水田フル活用の実践

福岡県米・麦・大豆づくりにおいて作付け拡大や収量向上に向け生産者・JAグループ関係機関一体となった取り組みを図りました。

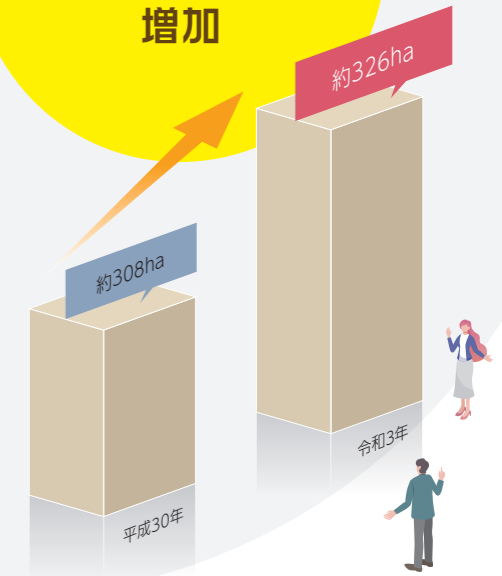
また、麦の品質向上のため土壌分析や栽培指導を実施し品質管理を徹底しました。



麦の作付け面積拡大

年	面積
平成30年度実績	308.2ha
令和元年度実績	300.7ha
令和2年度実績	320.1ha
令和3年度実績	325.9ha

3年間で
約**18ha**
増加



「地域の活性化への貢献と情報発信機能の強化」にかかる取り組み



直売所(ゆめ畑)運営強化

地産地消運動の実践と農畜産物の家庭内需要の高まりにより、感謝祭や創業祭等のイベントに取り組みました。その結果3年間で売上高約1.5億円増加となりました。

令和2年には16年間で、1,000万人を超える来場者数となりました。



直売所(ゆめ畑)総売上高

年	金額
平成30年度実績	13億円
令和元年度実績	14.1億円
令和2年度実績	15.7億円
令和3年度実績	14.5億円

3年間で
約**1.5億円**
増加



ふれあい活動を通じた地域の活性化への貢献

「食」と「農」「地域」と「JA」を結ぶ食農教育・地域貢献活動により、豊かでくらしやすい地域社会づくりに取り組みました。支店を中心に特色を生かしたふれあい活動を実施しました。

